

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和4年度第8回理事会議事録

日時：令和4年12月21日（水）19時00分～21時17分

場所：都臨技事務所 オンライン Web 会議システム（Zoom ミーティング）

議長：原田

議事録作成：府川

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）6名

浄土、加藤、近藤、堀口、高橋監事、佐野監事

以下の出席者は、Web 会議システム「Zoom ミーティング」により参加した。

（自宅より参加）10名

杉岡、中村、米山、星野、三橋、山方、相馬、竹澤、飛知和、岩瀬

（職場から参加）9名

原田：勤務先 東京都台東区東上野 2-23-16 公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院 臨床検査科

平木：勤務先 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

末永：勤務先 東京都杉並区阿佐谷北 1-7-3 河北総合病院 臨床検査科

米谷：勤務先 東京都三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学保健学部臨床検査学科

府川：勤務先 東京都港区虎ノ門 2丁目2番2号 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 中央検査部

畑田：勤務先 東京都渋谷区神宮前 4-3-6 伊藤病院 診療技術部 臨床検査室

市川：勤務先 東京都西新宿 6-7-1 東京医科大学病院 輸血部

仲田：勤務先 東京都八王子市館町 1163 東京医科大学八王子医療センター 検査室

山崎：勤務先 東京都江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 6階 江戸川区医師会医療検査センター 総務課

計 25名

欠席：浅野、遠藤監事

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web 会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いに行える状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録

- ・令和4年度第7回理事会議事録が承認された。
- ・2022年度第8回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・11月21日に第7回学術部会が開催された。
- ・11月9日に開催された免疫血清検査研究班の研修会の際、音声の乱れがあり、聞き取りにくいとの声が会員から寄せられた。研修会の際に、音声その他、不備があった場合に研修会開催の有無など対応策を相談したいとの依頼があった。
- ・研修会のオンデマンド配信について、今後、講師依頼状にオンデマンド配信の許可についての文言を追加し、許可を取って配信していく予定である。オンデマンド配信に対しては、生涯教育の点数付与は行わない。
- ・コロナ禍で研修会が Web 開催となり、開催当初は受講率が上がったが、最近では受講率が低下傾向にある。受講率を上げるように対策をとってほしいと杉岡副会長より要請があった。対応策として研修会内容や興味を引くタイトルなど考慮し、来年度事業計画に盛り込む予定である。
- ・12月9日に生理検査研究班の第14回研修会が開催予定であったが、前日に講師の体調不良で開催中止となった。会員へは、一斉メールおよび当日の開催時刻に中止のスライドを流し、対応を行った。代替の研修会は今年度中に行う予定である。
- ・12月17日に表彰選考委員会より表彰候補者の推薦依頼があったが、締め切りが12月31日ということもあり、書類作成期間が短いため、来年度に行うこととした。
- ・初級研修会の今年度のアップロードが公衆衛生検査研究班しか行われていなかった。各班長への手順が周知されていなかったため、今後、近藤学術部長を通して広報委員会へアップロード依頼を行う予定である。
- ・各種ガイドラインのリンク先は現在進行中である
- ・遺伝子染色体検査研究班の幹事推薦状の審議依頼があった。推薦された幹事予定者と班長が同病院であり、原則として同病院は望ましくないが、遺伝子染色体検査研究班は結成されたばかりで人数が少なく、今後の発展を考慮し、今年度は続行を考えているので、審議していただきたい。

(2) 編集委員会

- ・11月24日に第4回編集委員会を開催した。第5回編集委員会は、12月22日に開催予定である。
- ・2023年の会誌カラーは「紫」とし、デザインをアップしているのを確認していただきたい。
- ・2月号は、投稿原稿が微生物2件、生理2件の計4件あり、予算オーバーの可能性もある。そのほかに、第18回学会の告知ポスター、原田会長の新年のあいさつなどを掲載予定である。
- ・会誌について、進捗状況の報告体制、契約内容の確認や他社の広告会社を検討することの提案については、12月22日の第5回編集委員会で検討する予定である。

(3) 精度管理委員会

- ・11月29日に精度管理委員会が開催された。
- ・今年の精度管理調査報告会は、2月に開催予定である。
- ・例年、北九州地区の管理試料を購入しているが、2023年度で終了との連絡があった。今後は、口臨技から購入予定だが、コストが4~5倍かかり予算増となる可能性がある。
- ・精度管理調査の際、評価がCおよびDの施設で測定データの入力ミスなどを、問い合わせ後に手入力修正を行っていたが、精度管理委員の負担となり、廃止することとした。
- ・精度管理調査の参加申し込み案内を郵送で行っていたが、費用対効果を考え、メール配信とする。メール配信に変更することで、郵送分のコスト等を、試料送付時の資材高騰分に転換でき、来年度の事業計画上では参加費の値上げをしなくても事業が進められる状況である。
- ・幹事交代予定が1名ある予定で、推薦状等がそろい次第、審議予定である。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・公益事業その他については開催なし
- ・学術研修会は5回開催され、延べ682名の参加があった。初級研修会に関しては開催なし。自己申告の会場研修会は過去月分として10月分、11月分ともに2件、6名の登録があった。

2) 学会運営部

(1) 第17回東京都医学検査学会

- ・第17回東京都医学検査学会は、大きなトラブルもなく終了した。
- ・参加人数は、合計515名であった。
- ・収支について、収入6,451,100円、支出8,930,397円、収支差額-2,532,297円となった(学会調べ)。
- ・新型コロナウイルス対策としては各会場に演者用のアクリル板を置き、アルコール除菌用のクロスやスプレーを設置して必要に応じてマイクの消毒を行うなどした。
- ・新型コロナウイルス発生状況としては、学会前に演者1名、座長1名、学会スタッフ1名の計3名罹患し、不参加となった。学会開催後は、12月4日夕方に症状が出て陽性となった会員1名、12月6日に陽性となった会員が1名、クラスターの発生などは認められなかった。
- ・最優秀演題賞に「尿検体pHと尿中 β_2 ミクログロブリン測定値の低下度の比較検討」、優秀演題賞に「子宮内膜間質におけるCD138陽性形質細胞の新たな評価法の検討」が選定された。
- ・学会を終えて、当初の目標として演題数50、参加者500名を目指していたが、目標を下回る結果となった。
- ・同日、埼玉県医学検査学会も開催されていたが、演題数や参加人数ともに東京都を上回っていた。
- ・会員数での比較としては、東京都7200名に対し、参加人数500名、埼玉県3500名に対し、参加人数800名であった。両学会開催の大きく異なる点として、参加費、演題数、会場の広さ、会場費用、後援数が挙げられた。今後の学会開催における検討事項としていきたい。
- ・第18回東京都医学検査学会は、2023年12月3日に東京女子医大病院の三浦ひとみ氏が学会長を務め、秋葉原UDXで開催される。
- ・第18回東京都医学検査学会もアトラス社のコンフィットを依頼予定だが、3年契約であると割引となるため、複数年契約で契約の予定である。

3) 支部運営

(1) 施設連絡者会議

- ・第17回東京都医学検査学会内で開催する施設連絡者会議は事前登録25名であったが、2名欠席、当日参加6名、計29名の参加があった。
- ・学会内開催での参加者増が望めない場合、単独開催も視野に入れる必要がある。
- ・施設連絡者会議でタスクシフト/シェア実技講習会の申込について会費の値下げなどの要望が寄せられた。

(2) タスクシフト/シェア講習会について

- ・12月11日、18日で開催を行った。事前に欠席連絡があった会員を含め、12月11日は59名、12月18日は58名の参加であった。
- ・次回は、1月15日を予定しているが、吸引痰の講師が決まっていない状況である。
- ・2月は、19日の予定で、毎月第3日曜日の開催を予定している。
- ・4月以降は参加条件である所属技師会のみ制限が撤廃になる予定で、東京都以外でも受講できるように日臨技が調整中である。

(3) 選挙管理委員会

- ・報告事項なし。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・11月19日に検査と健康展が開催され、実施報告がなされた。
- ・12月14日(水)東京都立蒲田高校にて13歳のハローワーク社会人アドバイザー交流会が開催され、参加報告がなされた。

(2) 看護フェスタ

- ・2023年の看護フェスタの参加意思書を12月19日に提出済である。

(4) STI 予防委員会

・12月11日にエイズフェスに参加した。主催者のふぉー・てぃー（一般社団法人 住民とともに活動する保健師の会）から、機関誌にSTI 予防委員会の活動報告を掲載してはどうかとの依頼を受け、検討することとした。毎年6月号を全国の中学・高校に配布している。

(3) フォーラム委員会

・都臨技 HP 上での公開。都民公開講座として「新型コロナワクチンについて」、「抗原検査について」を2023年2月6日～3月31日にWeb開催を予定している。生涯教育の基礎20点付与の予定。

・Web開催のため、チラシやポスターの印刷は行わず、都臨技の公式HPとLINEに開催通知を掲載する予定。

(4) 教育施設連絡者会議

・来年3月の卒業生に対し、都臨技の入会案内をチラシもしくは訪問で行うことに対し、アンケートを行った。2施設より、チラシのみの依頼があった。

5) 会計部

(1) 会計部報告

・2022年11月の収支会計報告がなされた。
・2023年1月7日までに会計簿の提出、理事行動費申請をお願いします。
・各研究班にPCを配布しているが、PC番号や台数と研究班のマッチングした記録がない状態である。学術部でリサーチし、管理は庶務部で行ってもらいたい。
・山方学術統括部長より、遺伝子染色体検査研究班は新規の研究班のため、研修会用のバーコードリーダーが未購入である。PC配布時にバーコードリーダーも購入して一緒に配布してもらえるよう要望があった。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

・会員数報告がなされた。正会員数7287名、賛助会員66社、学生会員49名、名誉会員13名。
・新規入会会員、新規入会学生会員の審議依頼がなされた。
・事務所保管の契約書を確認し、法人関係と機器関連に分類し、リストの作成を行った。日本興業社との契約の記録がないため、早急に契約を結ぶ必要がある。
・「会議室使用状況確認と予約の取り方」、「役員専用ページへの飛び方」、「ZOOMを使用した会議・打ち合わせのマナーやコツ」、「事務所のPC設定」のマニュアルを作成したのでご一読ください。
・高橋監事より、中間監査報告および中間監査に関する提案があった。
・医歯薬出版株式会社が賛助会員から退会した。

(2) 役員候補者選出委員会

・報告事項なし

7) 事務局

(1) 事務局報告

・11月事務局報告書の確認がなされた。
・日臨技から地域ニューリーダー育成研修会の参加依頼あり。3年間で3名育成予定。30～40代の理事から選出することになり、対象者が山崎理事、畑田理事、神田理事となる。今年は、山崎理事を推薦予定である。
・私立医科大学臨床検査技師会学術研修会の後援依頼があり、例年通り承認した。
・ペイシェントケア学術大会でのタスクシフト・シェアについての講演依頼があった。三橋理事に講演いただく。
・日本臨床検査医学会特別会で「タスクシフト/シェアと医療安全」というテーマで講演依頼があった。日臨技に杉岡副会長経由で問い合わせを行う。
・「インボイスの手引き」が遠藤監事より紹介があった。
・火災保険・地震保険の契約更新を行う。

(2) 広報委員会

・第17回学会での広報活動による新規LINE登録者は2名であった。
・ホームページのリニューアルを来年度行う予定である。それに伴い、ラヴァーレとの契約内容を確認し、見積を依頼中である。

(3) 表彰選考委員会

・第3回表彰選考委員会が11月22日に開催された。
・第17回医学検査学会内で功労者および永年幹事の表彰式を執り行うことができた。表彰式に出席されなかった永年幹事へは表彰状と記念品の発送を行った。功労者への記念品は、年明けに発送予定である。
・永年会員の調査はがき218名分の発送を行った。
・小島三郎記念技術賞の対象者に書類作成いただき、所属長および原田会長のサイン押印のため現在回覧中である。
・厚生労働大臣賞に東京都から3名推薦を行った。この賞は5年に1回の表彰で、役員を10年経験すると対象になるため、役員経験者は今のうちから経歴を記録しておいていただきたい。
・日臨技の地域貢献賞の推薦について対象者に打診したところ辞退したいとの連絡があった。締め切り間近であり、新たな候補者推薦は叶わなかった。地域貢献賞の対象は地域保健共済事業等で都民祭りや市民祭り等で地域の方の保健管理、看護フェスタでの健康管理、STI 予防委員会などで活動している幹事が対象となるので、今のうちからリストアップしておく必要がある。

8) 副会長報告

(1) 杉岡副会長

・日臨技の支部研修会の存続について意見があったら出していただきたい。近藤理事から、各県の班長中心で研修会を予定しているが、横のつながりもあり、東京都以外の地域では研修会が少ないこともあり、存続してほしいとの意見あり。加藤理事より、軽

井沢の研修会で他県の理事から東京都の研修会は魅力的だが東京都の会員になるのはハードルが高いとの意見あり。原田会長より、合同で開催することによりご高名な先生にご講演いただける利点もあるとの意見あり。

(2) 中村副会長

・都庁に提出する事業計画書および事業報告書の締め切りは2023年3月31日となっており、2月中には議事録の理事会承認が必要となる。

(3) 米山副会長

・執行理事会で公務の際に付ける会章を作成する案が出ている。都臨技マークを変更するか否かも含め、検討が必要である。変更する場合は公募にする予定。今回、理事の賛成多数でマークの変更が決定された。次年度中に公募および決定、2024年3月中に商標登録、2024年4月から稼働というスケジュールで進める予定となった。

9) 会長報告

・11月13日に人材育成研修会に参加し、青年局で行っている内容を疑似体験するという研修会であった。全て若手が企画から講習等を行うもので、若手育成の必要性を感じた。当会でも、若手の人材育成を行うため、神田理事、畑田理事をまとめ役とし、各支部から20代後半～30代前半の幹事を2～3名選出してもらいたい。活動としては、若手向けの研修会開催を予定している。

10) その他

・加藤理事より

会誌印刷の契約についてどうするか。今年度は、日本興業社と契約を結ぶが、編集委員会で仕様書を作成し、何社か見積りをとって検討する。

3. 審議事項

- 1) 遺伝子染色体検査研究班の幹事候補について審議の結果、承認された。
- 2) 山本班長の今年度続行について審議の結果、承認された。
- 3) 新入会会員16名（新入会17名、再入会1名）について審議の結果、承認された。
- 4) 新規入会学生会員39名について審議の結果、承認された。
- 5) 地域ニューリーダー育成研修会に山崎理事を派遣することについて審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し21時17分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。


2022年12月21日(水)

公益社団法人 東京都臨床検査技師会
議事録作成 府川孝子

議長
(原田)

原田典明 

監事
(高橋)

高橋秀治 

監事
(佐野)

佐野和三 